第29回物理教育に関するシンポジウム予稿集原稿テンプレート

A template and format requirements for symposium manuscripts

応物次郎\*, 教育太郎\*\*

Jiro Obutsu\* and Taro Kyoiku\*\*

\*○○大学理工学部，〒102-0073 東京都千代田区東町1-1

\*\*島根県立△△高等学校，〒690-0873 島根県松江市西町1-110

\*Faculty of Science and Technology, ○○ University

1-1 Higashi-machi, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0073 Japan

\*\*Shimane Prefectural △△ High School

1-1 Nishi-machi, Matsue-shi, Shimane 690-0873 Japan

**1. はじめに**

今回の予稿集原稿は，カメラ・レディフォーマットで仕上げられたものに限ります．受理された原稿はそのまま印刷所に渡し，版下を作成して印刷されます．文章は横書きで作成してください．

以下に，今回の予稿集原稿の作成指針を示します．標準的な原稿フォーマットとして，本稿を参考にしてください（本稿を，そのまま原稿テンプレートとしてご利用ください）．

**2. 用紙サイズとフォーマットの概略**

原稿はA4版（210×297mm）に作成されたものに限ります．印刷・製本時には，そのままA4版で予稿集を作成します．段組は，本稿のように，和文表題，英文表題，著者名（和文表記），同ローマ字あるいは原文表記，所属および所在地（和文表記），同ローマ字あるいは英文表記までは一段組みとし，以下，謝辞，参考文献に至るまで二段組とします．

**3. 書式**

本文の各段落の書き出しは一字空けて記載してください．本稿の書式は以下の通りです．この書式に沿って，原稿を作成してください．

ページの余白(マージン)

上　30 mm, 下　25 mm

左　20 mm, 右　20 mm

一行の文字数(2段組み部分) 23文字

1ページの行数 43行

二段組みの断間の間隔 7mm

和文タイトル MSゴシック 14pt

英文タイトル TimesNewRoman 12pt

和文著者名 MSゴシック 11pt

英文著者名 TimesNewRoman 11pt

和文所属機関名 MS明朝 10pt

英文所属機関名 TimesNewRoman 10pt

章のタイトル MS明朝 11pt

　　　　　　　　　（数字はTimesNewRoman 11pt）

本文 MS明朝 10pt

謝辞（見出し） MS明朝 11pt

謝辞（本文） MS明朝 9pt

参考文献（見出し）MS明朝 10pt

参考文献（本文） MS明朝／TimesNewRoman 9pt

本文の各ページには通し番号はつけないで下さい．句読点には「，」「．」を用いて下さい．和文フォントはMS明朝体，英数字フォントはTimes New Romanを標準とします．ただし，和文タイトルはゴシック体（ボールド無し）で14pt，英文タイトルはTimes New Roman（ボールド無し）の12 ptとします．著者名，著者英文名，所属機関名なども，ボールドにしないで下さい．本文における各項目の見出しは，本文よりやや大きめのサイズ（本稿では11 pt）のボールド体を用いて，番号をつけます．ただし，本文中の参考文献は，) 付きの上付き数字で項目番号を表示下さい．英数字に和文の全角フォントは使用しないで下さい．

**4. 図，表，写真ならびにその説明**

図，表などは，電子データとして本文に貼り付けておいてください．そのまま印刷に使用します．

なお，予稿集印刷は，経費節減のために白黒（モノトーン）で行います．図，表，写真がカラーであっても白黒（モノトーン）印刷となることをご承知おきください．その場合には，白黒（モノトーン）印刷でも見やすいものになるように，原稿作成段階でのご配慮をお願い致します．

図と写真は同じ扱いとして，それぞれの下に9ptで図1，図2と通し番号をつけ，続けて説明文（9pt）を記します．表の場合は，それぞれの上に9ptで表1，表2と通し番号をつけ，続けて説明文（9pt）を記します．

**5. 数式や記号の表記**

数式はワープロソフトの数式機能で作成して下さい．式にはカッコ（　）で囲んだ通し番号をつけ，その行の右端に置き，数式は文章の一部とみなし，式の直後に文脈に応じてピリオド「．」あるいはコンマ「，」をつけます．物理量を表す文字は斜体（イタリック）とし，単位の記法は原則としてSI単位系を用いて下さい．

**6. 謝辞**

謝辞は，参考文献の前に書いてください．

**謝辞**

本研究は###の補助を受けて実施したものである．

**7. 参考文献の表記**

文献は論文末尾に項目を設けてまとめて書いて下さい．本文中には通し番号で2, 3）などと9 ptの上付き文字で表記します．なお，本文中で文献を引用するときは，文献1（英文の場合はref. 1）と書いて下さい．一つの文献の終わりにはピリオドを打ちます．和文フォントはMS明朝体，英数字フォントはTimes New Romanを標準とします．

以下に示す参考文献の表記例は，1)単行本，2)学会雑誌（学術論文誌など），3)国際会議論文または公開されている会議記録など，です．

**参考文献**

1) 応物次郎：基礎物理学，第6章, pp.1-12（応用物理出版社，1966）．

2) 教育太郎：応用物理教育, **17** (2), pp.95-98 (1994)．

3) Ichiro Sato：Proceedings of the 18th International Conference on Introductory Physics Education, pp.122-124 (1996).

1) 単行本：著者，タイトル，章またはページ（出版会社，出版年）の順で記載して下さい．ページは始ページと終ページを pp.1-12のように記載して下さい．

2) 学会雑誌：著者，雑誌のタイトル，巻 (号)，始ページ，（年）の順に記載します．ページは始ページと終ページを pp.95-98のように記載して下さい．

3) 国際会議あるいは公開している会議報告：著者，会議論文集タイトル，始ページと終ページ，(年)の順に記載して下さい．ページは始ページと終ページを pp.122-124のように記載して下さい．

**8. ページ数の上限**

講演１件あたりのページ数は最大2ページとします．

**9. 提出締切日及び提出先**

以下のアドレスまで，メール添付でMS-Word形式(.doc .docx)およびPDF形式でお送りください．ファイルサイズが大きくてメール添付では送付できない場合には，CDなどに保存して郵送をお願い致します．

予稿集原稿の提出締切：2018年10月22日(月)

原稿送付先：

　九州工業大学工学部PBL教育推進室　大野

C:\Users\ODA\Desktop\新規作成_2.jpgE-mail：

〒804-8550　福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1

問合せ先：

第30回物理教育シンポジウム現地実行委員長

小田 勝（九州工業大学大学院工学研究院）

　電話　093-884-3420（直通）

C:\Users\ODA\Desktop\新規作成_1.jpg　E-mail：

〒804-8550　福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1